

3月

尾久二だより

令和 5年 2月28日
荒川区立尾久第二幼稚園



「1年間の保育のしめくり」

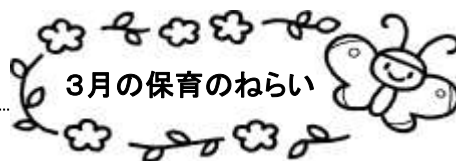


園庭の桜の木も小さな新しい芽をつけ始め、外で元気に遊ぶ子供たちの成長した姿が春の訪れを感じさせてくれます。玄関のホールでは、地域の方からいただいて飾ってある大きな七段飾りのひな人形を見ながら、各組の子供たちがそれぞれオリジナルのひな人形を作りました。子供たちはお雛様の衣装や持ち物、並び方など興味津々です。「着物を何枚も着ているよ」「持っているのはしゃくっていうんだって」「お内裏様とお雛様の並び方は決まっているのかな」など友達と楽しそうに話しています。世界に一つだけの表情豊かなお雛様が完成しました。友達からも「上手だね」と褒められて嬉しくて笑顔を見せている子もいました。子供たちは自分の頑張ったことを人から認められることで自信をもち、新たな意欲につながっていきます。お雛様づくりを通して、有意義な保育を行うことができました。次はどんな創作活動をするのか楽しみです。



今月は1年間の保育の締めくりです。保護者の皆様と力を合わせ、「一致団結」して保育に励みます。どうぞよろしく願いいたします。

そして、3月はお別れの季節。いるか組の子供たち、保護者の皆様はたくさんのお思い出を胸に修了を迎えることと存じます。そして尾久二幼稚園での貴重な体験を基に、小学校でのご活躍を願うとともに、一歩一歩着実に歩んでいくことを期待いたします。



3月の保育のねらい



うさぎ組

- もうすぐ年中児クラスになり進級する期待や喜びをもって遊んだり生活したりする。
- 自分の思いを自分なりの言葉で表しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 積極的に戸外で遊び、冬から春への季節の変化を感じる。



りす組

- 年長組になることに期待をもち、自分なりに考えて行動しようとする。
- 学級の友達と関わりながら、様々な活動に積極的に参加する。
- 身近な春の自然にふれ、興味や関心をもつ。



いるか組

- 自分たちで遊びや生活を進めていく楽しさや充実感を味わい、自信をもつ。
- 互いの成長や良さを認めたり、思いを受け入れ合ったりしながら、友達とのつながりを深める。
- 身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じたり、就学に期待をもったりする。